

やすらぎ

2020.9
september
Vol.83



観光交流センター「北の防人大湊^{あんどかん}安渡館」交流室

大正浪漫を感じさせるモダンな雰囲気……。ここは、むつ市観光交流センター「北の防人大湊^{あんどかん}安渡館」の交流室だ。

大湊地区は、明治35年(1902)に旧海軍大湊水雷団の開庁以来、要港として急速に発展を遂げたところ。終戦後は海上自衛隊大湊地方隊が設置され、北の防衛の要となっている。

今も尚、明治時代からの海軍施設が、水源池公園や海上自衛隊大湊地方隊の周辺に当時の面影を残したまま点在し、むつ市はこの一帯を「北の防人大湊」として整備してきた。

安渡館^{あんどかん}は、実在した海軍大湊要港部庁舎をイメージし、平成27年(2015)にオープン。交流室ではこれまで、地元のカフェやダンスを披露したり、結婚式の前撮り、リゾート列車の食事スペースとして使用。今後、様々なシーンでの活用が期待される。

ほかにも館内には、食事ができるカフェテリア、海軍グッズや海上自衛隊グッズ、ムチュラグッズを販売する売店、観光情報を紹介するラウンジなどがある。

どこか、ちよっぴり懐かしい、大湊地区。日本の古き良き時代に出逢える街だ。

温泉熱を活用した「観光いちご園」で、

1年中、摘み取りを楽しんで！



観光いちご園「アグリいーな」田んぼアートの里 代表取締役

佐藤 遼樹 さん (28歳)

田舎館村「田んぼアート」第一会場のすぐ近くにある、観光いちご園「アグリいーな」田んぼアートの里。温泉熱を活用し、1年中いちごの摘み取り体験ができる」と人気を集めている。

「このいちごはおいしい！」と言って何回も摘み取り体験に足を運んでもらったときは、嬉しいですね」と代表取締役の佐藤遼樹さん。昨年12月、代表に就任した。

田舎館村での温泉熱を活用したいいちご栽培は、4年前の2016年にさかのぼる。村は「田んぼアート」のブランド化を基盤に、温泉熱を活用したビニールハウスを建設し、新しい産業を創ろうと田んぼアートの里ブランド化推進協議会

を設立。

いちご園の向かいにある、湯量豊富な「田舎館村老人憩の家」の温泉を使って「観光いちご園」をスタートさせた。そして3年の計画を終え、佐藤さんの父が事業を引き継ぎ、今は息子の遼樹さんが、出資者3人、スタッフ8人とともに作業に精を出している。

「農業ど素人の自分が、田舎館いちご研究会のみなさんをはじめ、父に教えてもらいながら、1棟だったビニールハウスを15棟までに増やすことができました」と話す。ビニールハウスの向かい側にある老人憩の家からパイプで温泉を引き、土を温め、ハウス内の温度を適温に保つことで、寒い冬でも、いちごの栽培



を可能にした。

「ここは、いちごの生産販売ではなく、最初から観光がメイン。訪れた人が摘み取りやすいように、地面から1mほどの高いところで育てる高設栽培なんです。また車椅子の方でも安心して楽しめるよう、摘み取りスペースも広くしているんですよ。」

栽培しているのは、7月から11月の夏秋いちごが、小ぶりで甘い「なつのはたより」、酸味があつてみずみずしい「サマールビー」など4種類。12月から6月の冬いちごは、甘くて大きい「とちおとめ」など2種類だ。

「1年中栽培しているから、夏秋いちごと冬いちごの作業がかぶって大変。まともな休みがとれない時期もあるんです。それでも害虫や温度管理など、失敗を乗り越えておいしいいちごができたとき、いちご作りの喜びを感じます」とのこと。

将来はビニールハウスをもっと増やしたいという佐藤さん。「いつか田舎館いちご園と言われるように頑張りたい。そしていちごと言えば、パックに入ってお店に並んでいるものではなく、緑の中で元気に育つ様子を連想し、目で見て、摘み取って、味わって、五感でいちごを楽しんで欲しい」と爽やかに語った。

- 田舎館村大字田舎館字中辻10-1
- TEL 0172-55-6016
- 営業時間 摘み取り10:00~12:00
- 定休日 年末年始・お盆
- 30分食べ放題
- おとな 1,500円、小学生・65歳以上 1,200円、3歳以上~ 500円
- <https://www.agri-na.com/>



先人たちの思いを胸に 津軽の民謡文化を発信

津軽三味線奏者、津軽手踊り名人位 高橋竹春さん（平内町出身）

青森県内の祭りがすべて中止となったこの夏。故郷への思いをねぶた囃子と津軽の旋律に乗せて東京から発信をした女性のグループがいる。ネーミングは軽やかだが、骨太なメンバーが顔を揃える「あおもり女子カフェ」。6月からフェイスブックを通して定期的に配信を行い、7月31日には「あおもり女子カフェ的ラッセラー」青森ねぶたナイト」と題し、東京浅草から無観客配信を行った。メンバーの一人が平内町出身の津軽三味線奏者高橋竹春さんだ。

配信は竹春さんの「津軽じょんから節」をベースにした即興演奏で幕を開けた。滑るように棒を上下する指先、激しい撥さばき。久しぶりに耳にする津軽三味線の音色に「じゃわめいだ」。手踊りの名手でもある竹春さんはこの日、「ねぶた音頭」にオリジナルの振り付けを行い、メンバーと共に華やかな踊りも披露。手ぶり鉦を打ちながらねぶた囃子に合わせて跳ねるなど祭りの雰囲気盛り上げた。配信を観ていた私も、気づくと自宅と一緒に跳ねていた。

「私たちはコロナ禍により、皆さまの前で表現する機会を失いました。自粛する皆さんに楽しんでいただけたいらと思って配信を始めましたが、励ましの声をたくさんいただきました。逆に私たちが元気をいただきました」とこやかに話す。

竹春さんはこれまで定期的に青森に通い、県内にいる生徒に稽古

をつけ、県内で演奏するなどの活動を行ってきたが、コロナの感染が広がったことにより3月から故郷には行けない状態が続いている。（8月現在）

●母の背中

幼い竹春さんが最初に出会ったのは手踊り。母で手踊りの師範である後藤千万里に背負われ、生後6カ月から民謡のリズムや音色を聴いていたというキャリアの持ち主。5歳から本格的に手踊りの稽古を始めた。最年少の5歳で青森県民謡グランプリ手踊り名人決定戦の本選に出場。2013年に名人位を獲得している。

手踊りの伴奏をする津軽三味線も勉強した方がいいと9歳で高橋竹善師匠の下に弟子入りした。

「平内の小学校に4年生から5年生のころ、高橋竹山先生がいまして、演奏と講演をしてくださいました。すごくいい方だなと衝撃を受けました。」

16歳で竹春の名前をもらい、師匠と共にフランス、ブラジル、中国、ロシアなど海外での演奏も

行ってきた実力派だ。平成26年、宗家から高橋の名を授けられた。「ブラジルで演奏した際、平内から移民したおじいさんがいて、とても喜んでくれました。海外の方々の反応はとても素敵で、総立ちでブラボーと叫んでくれ、演奏をしてよかったなと思うことがしばしばです。」

●39歳で上京

人生には思いもかけないことが起こる。たまたま首都圏で行われた物産展で津軽三味線の演奏を頼まれ、その演奏を聴いていたのが現在のご夫君。津軽三味線が結んでくれたご縁だ。青森に定期的に通えばいいという生徒たちの言葉に背中を押され、39歳で故郷を離れ、嫁いだ。「故郷を離れることになるとは思っていませんでした。平内は人生の基盤を築いてくれた大切な場所。平内町で手踊りと出会い、津軽三味線と出会った。故郷にはいつも感謝しています。師匠の竹善先生がいて、竹山先生がいる。大きな存在の前で私に何が出来るのかなといつも考えています。青森と首都圏の教室で手踊りと津軽三味線を教えていますが、礼儀やあいさつ、所作など師匠からしつけられたことを後進にもしつかり伝え、育成に力を尽くしたいですね。軽やかなトークと笑顔、そして何事にも真面目に真摯に向き合う姿が印象的な竹春さん。一歩ずつ、新たな歩みを手探りでいくことだろう。」

ホットタイム

気がつく、秋が来ていた。

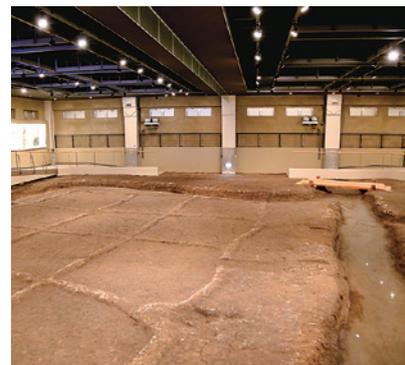
桜まつりもゴールデンウィークも夏祭りもお盆の帰省もない、ないない尽くしの一年だった。戦時中はこんな日々がいつ果てるともなく続いたのだろう。当時女学生だった母は、授業もなく、軍需工場へと勤労奉仕にかり出され、軍用機のプロペラを磨いていたとよく話していた。海軍火薬廠のある街だったため、日々の爆撃も激しく、実家には焼夷弾の跡も残っていた。コロナ禍は鬱々とした日々だが、爆撃がないだけよし、だろつか。戦中も、映画『この世界の片隅に』の主人公おすずさんが過ごしたような、ささやかな幸せを慈しむ暮らしは全国にあつたという。コロナ禍でも明るい気持ちで忘れずに暮らしたいと改めて思う日々。

（清水典子）





田んぼアート (2018年制作 / 「ローマの休日」)



田舎館村埋蔵文化財センター



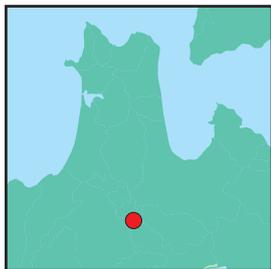
道の駅いなかだて「弥生の里」



スノーアート
(2020年制作 / 「輝く冬空の銀河」)



石アート (2019年制作 / 「男はつらいよ」 車寅次郎©松竹)



[田舎館村]

市町めぐり



津軽平野の南側、東に八甲田山、西に岩木山を望み、豊かな水と肥よくな土壌に恵まれた田舎館村は、面積約22km²、人口約7700人。古代米などで描く巨大な「田んぼアート」で知られる村だ。その歴史は古く、弥生時代から米作りが行われていたことを、国の史跡 垂柳遺跡は物語っている。

発掘された水田跡の上にある埋蔵文化財センターでは、弥生人の足跡を見たり約2100年前の田んぼの上を歩くことができる。美しい「田んぼアート」のほかにも、多くの人を魅了するスノーシューで雪を踏み固めて制作する冬の「スノーアート」、異なる色の石を並べて描く「石アート」……。来年こそ、お城の形をした役場庁舎内にある田舎館村展望台と道の駅いなかだて「弥生の里」の敷地内にある弥生の里展望所から、もう一度眺めてみたい。



観光いちご園「アグリイーな」田んぼアートの里（向かって右が）

船木 清子さん
山口 幸子さん
新堀 弘樹さん（地域おこし協力隊）

一年中、いちごの摘み取り体験が楽しめる観光いちご園で、苗の定植から実すくりなどの作業、摘み取りに訪れた方の接客などを行っています。いちごは、手をかけた分よく育つのでおもしろいです。いちごの生ジュースは、夏はさっぱり、冬は甘くて、おいしいですよ。日曜限定のスイーツも食べてみて！「田んぼアート」を見学したあとで、ぜひお立ち寄りください。田舎館村は、弘前に近くアクセスが良く、のんびりゆったりしている、静かです。



街角インタビュー

おらほの一番

北洋館

大正5年(1916)、旧海軍大湊要港部の水交支社(海軍士官の社交場)として建設された石造りの洋館。現在は海上自衛隊大湊地方隊の資料館として、旧海軍・自衛隊の貴重な資料約1,000点を展示しています。

■むつ市大湊町4-1 ■TEL 0175-24-1111 (海上自衛隊大湊地方隊総監部 総務課広報係)



海望館

安渡館の向かい側にある、海拔55mの展望台です。眼下に広がる陸奥湾をはじめ、天気が良ければ、八甲田山系、尻屋崎方面まで見渡せるほか、自然の造形美が美しい芦崎(砂嘴)や、芦崎湾に停泊する海上自衛隊の艦艇を一望することができます。

■むつ市桜木町3-1 安渡館
■TEL 0175-29-3101



式番館

旧海軍大湊要港部の士官官舎として大正4年(1915)に建設されました。1棟2世帯の住宅で、外壁は釜臥山から切り出した安山岩を使った石積みのもとも珍しい建造物。中央部は屋根まで石積みされ、防寒、防火の対策がとられていたそうです。現在は、むつ市の有形文化財に指定され、文化や自然に親しむ学習交流施設となっています。「北の防人大湊ガイドグループ」の活動拠点でもあります。

■むつ市桜木町5-64
■TEL 0175-31-1137



北の防人大湊ガイドグループ

重要文化財旧大湊水源地水道施設を中心に、北の防人大湊エリアの施設(北洋館、安渡館、海望館、式番館、みどりのさきもり館)を巡り、周辺の自然環境や旧海軍について案内してくれます。メンバーは40代から70代まで、豊富な知識と経験を持つ16人。1週間前までに要予約です。

■むつ市桜木町3-1 安渡館
■TEL 0175-29-3101

レトロ&モダンな

むつ市「北の防人大湊」に

出掛けてみよう！

明治時代からの海軍施設が

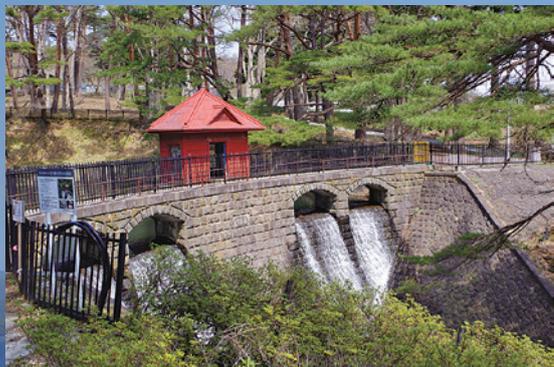
当時の面影を残したまま点在する、

北の防人大湊地区。

今回はその見どころを紹介します。

旧大湊水源地水道施設

むつ市の桜の名所として知られる水源池公園。その名に由来する旧大湊水源地水道施設は、明治35年に開庁した旧海軍大湊水雷団の、艦船補給用水などの確保を目的に建設された石造構造物です。東北地方で最初に建設された近代水道施設として歴史的価値は高く、平成21年、国の重要文化財に指定されました。その中でも『沈澄池堰堤』は現在、公園のシンボルとして親しまれています。



むつ市観光交流センター「北の防人大湊 安渡館」 カフェテリア 憩-ikoi-

海軍レシピの教科書「海軍割烹術参考書」をもとに現代風に再現した「大湊海軍カレー」や、海上自衛隊大湊基地に所属する「護衛艦はまざり」の給養員より直接伝授を受け、艦長より認定を得た極上カレー「大湊海自カレー」、明治時代に現在のもつ市大湊の旧海軍部隊で誕生したと言われる「海軍コロッケ」、下北産の野菜を使った「ビーフシチュー」、特製デザート「ムチュランティラミス」など、下北にこだわった料理とスイーツを味わうことができます。全品テイクアウトもしています。

■営業時間 AM10:00~PM6:00(ラストオーダーPM5:00)

■定休日 毎週火曜日、12月31日、1月1日

■TEL 0175-29-3103

※新型コロナウイルス感染症の影響で営業時間を短縮しております。



むつ市観光交流センター 「北の防人大湊 安渡館」

実在した旧海軍大湊要港部庁舎をイメージして建てられた、むつ市観光交流センターです。館内には、カフェテリア、オリジナルグッズの販売コーナーほか、多目的に使用できる交流室があります。

■むつ市桜木町3-1 ■TEL 0175-29-3101



健康

79 心筋梗塞

日本人の死亡原因、第2位にあげられている心筋梗塞。60代の男性に多く、いきなり激しい胸の痛みで襲われ、突然死の原因となる病気ともいわれています。

心筋梗塞は、心臓に酸素と栄養分を運ぶ冠動脈が詰まって血液が流れなくなり、心臓を動かしている筋肉「心筋」が壊れてしまう病気です。

原因は、その大部分が動脈硬化です。冠動脈の壁にコレステロールなどがたまると血栓ができ、やがて血液の通り道がふさがれ、心筋に血液を送ることができなくなり、心筋細胞が壊死してしまいます。

心筋細胞の壊死は、血流が

止まって20分で始まります。

血栓の大きさと壊死の範囲は比例し、血栓が大きければ心筋細胞の破壊範囲も広くなります。発作後、安静にしても激しい胸痛が20分以上続くときは、心筋梗塞の可能性が高くなります。

予防には、禁煙、塩分・糖分・



脂肪分を取り過ぎない、バランスのよい食事をとる、適度な運動をする、ストレスを避け、規則正しい生活を送る、血縁者に心筋梗塞の患者がいれば生活習慣に注意する、高血圧・糖尿病・高脂血症の早期発見と治療を行うことが大切です。

強い胸の痛みを感じたら、すぐに病院で診てもらいましょう。

働き盛りの健康法

睡眠の質を高めよう!!

みなさんは、しっかり寝たはずなのに疲れている、元気が出ない、日中眠くなるという経験はありませんか？

睡眠には身体を休ませるのはもちろん、脳を休ませるという役割も担っています。脳は、起きている間に疲れがたまる、睡眠中枢に働きかけて眠気を誘います。また疲れに関係なく、



暗くなると自動的に睡眠ホルモンとも呼ばれるメラトニンが体内時計に働きかけ眠気をおこします。睡眠には、脳や細胞を回復させるノンレム睡眠と、記憶の整理や固定を行うレム睡眠があります。

質のよい睡眠をとる方法は「コレ」!

- ① 毎日同じ時間に起きて、体内時計に従った規則正しい生活をする。
- ② 太陽の光を浴びる。
- ③ 朝ご飯を食べる。



- ④ 熟睡には睡眠時間にこだわらない。昼寝は30分以内にする。
- ⑤ 就寝直前に食べない、スマホなどを見ない。



読んで得だね!

今回「やすらぎ」の取材で訪れたむつ市と田舎館村の、とっておき情報をお届けします!!

むつ市奥薬研修景公園レストハウス・薬研温泉露天風呂

《むつ市》

元和元年(1615)、豊臣方の武将が「大坂夏の陣」に敗れ、落ち延びてきた先で温泉を発見したことがきっかけで開湯した薬研温泉郷。「奥薬研修景公園レストハウス」は、総ヒバづくり・ログハウスの建物が目印の隠れ家的場所です。

館内は休憩所になっていて無料で利用できるほか、森と川に囲まれた男女別の露天風呂・夫婦かつぱの湯は、旅人たちに人気!

レストランでは、地元で獲れた「海峡サーモン」を使った丼や、かつぱ伝説にちなんだ「かつぱフロート」も味わえます。お土産コーナーでは、ヒバ製品に薬研温泉水で作った石けんも!

このほか、駐車場には天然温泉の足湯、徒歩3分くらいのところには、元祖かつぱの湯(混浴/無料)もありますよ。

レストハウス事務局長の櫻場絵美さんは「日本三大美林のひとつ、下北産のヒバで作ったまな板やへらはいかがですか。耐久性抜群で抗菌効果もあり、何より香りがいいんです。秋には紅葉を眺めながら、温泉で癒されてください」と話していました。



■お問い合わせ/
むつ市大畑町赤滝山1-3 TEL 0175-34-2008

田舎館村総合案内所「遊稲の館」

《田舎館村》

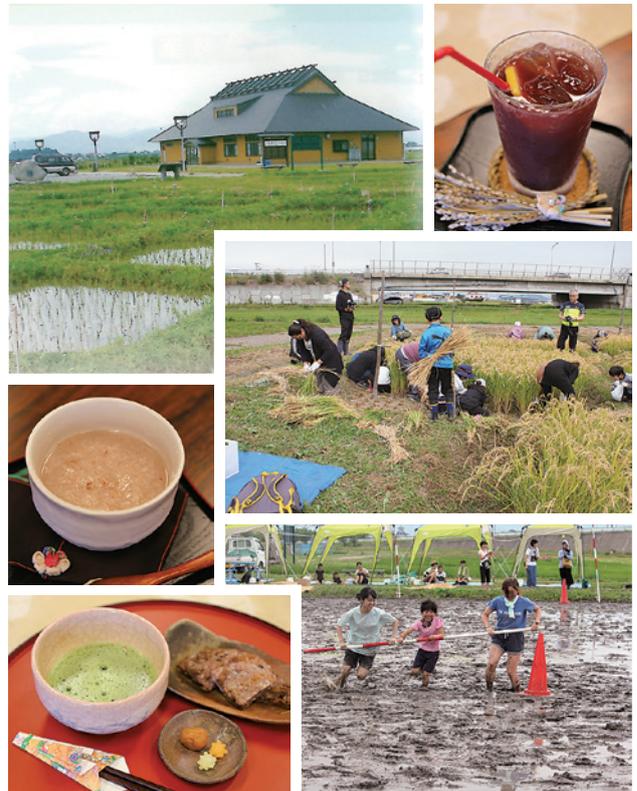
みなさんは、道の駅いなかだて「弥生の里」のすぐ近く、史跡 垂柳遺跡の隣にある「遊稲の館」をご存知ですか?

ここでは、地元の風土、農業の歴史、文化、人々の暮らしなどを展示しているほか、復元した田んぼを利用した稲作体験など、「稲」・「わら」・「土」にこだわったイベントを開催しているんです。

「弥生体験田」では、1区画12㎡の田んぼに、「まっしぐら」やもち米、古代米を作付。ミニ田んぼアートの挑戦することもできます。受付は、例年1月から2月。参加料は1区画1,200円です。

「いろいろばた喫茶」では、古代米を使ったおはぎ、焼きおはぎ、甘酒、サイダーなど、ここでしか味わえないメニューを用意。ゆったりとした時間を過ごすことができます。

ほかにも「どろリンピック」、古代米を使った「お正月飾り教室」などを開催。古代米で染めた小物の展示即売も行っています。ぜひ一度、のぞいてみませんか!



■お問い合わせ/
南津軽郡田舎館村大字垂柳字長田47 TEL 0172-58-4689

♥手作り「干し餅」、おひさま色の「ミニトマトジュース」、「熟成黒にんにく」もおすすです！



♥「ハンバーグ」「むつ湾ほたてのクリームスパゲティ」、デザートには、むつ市のマスコットムッシュムチュランが描かれた「ティラミス」と「クレーミープリン」!



♥お土産も「安渡館」でGET。「ムチュランぬいぐるみ」「水兵ムチュランぬいぐるみ」「セーラーベア」は、とっても可愛い。



♥「おおみなと海自カレーレトルト」「弾ドロップスー海上ー」「連合艦隊の湯のみ」も人気だそうです。



《むつ市》

♥むつ市に行ったらゼッタイ食べて来なくっちゃ!と思っていた、「大湊海軍カレー」「大湊海自カレー」「海軍コロッケ」「大湊Sora空っ!」。むつ市観光交流センター「北の防人大湊安渡館」のカフェテリア 憩-ikoi-でいただきました! (おらほの一番で紹介)

♥「大湊海軍カレー」は、ライスが下北半島の形をしているんですよ。「大湊海自カレー」は、「護衛艦はまざり」の給養員直伝のカレーなんだって。「大湊海軍コロッケ」は、揚げ油に牛脂を使っているからサクサク! 航空自衛隊第42警戒群で食べられている鶏の唐揚げ「大湊Sora空っ!」は、とってもジューシーで何個でも食べられるおいしさでした。



あいちの ほんのほのコーナー

— 弥生人、あらわる! の巻 —

♥ 取材こぼれ話



《田舎館村》

♥「田んぼアート」の村として有名な田舎館村の取材では、垂柳遺跡を見学したり、古代米で作った「焼きおはぎ」をいただいたり、稲作文化をたっぷり満喫することができました。(読んで得だね!で紹介)

♥ランチタイムは、道の駅いなかで「弥生の里」の「レストランジャイゴ」へ。古代米を練り込んだ「弥生ラーメン」、ドングリ、栗、芋を練り込んだ「弥生うどん」を“冷やし”でいただくことに。初めての味は、とっても美味!みなさんもぜひトライしてみてくださいね。



♥ほかに地元で人気の「味噌ラーメン」「カツカレー」、ボリュームたっぷりなのにリーズナブルな「うな重」を味わいました。



♥産地直売センターでは、普通のうるち米に比べてアミロースの含有量が少ない低アミロース米の「あさゆき」と、田んぼアートのパッケージが目を引く「つがる口マン」を発見! さすが稲作の村、お米もいろいろ揃っているんです。



♥村内の「ジャンボあられ本舗」で作っている「おかき」や「あられ」「おせんべい」は懐かしい味。



くみあい 情報板

令和元年度一般会計決算概要

歳入 (千円)	負担金	9,476,989
	財産収入	82,008
	繰越金	1,494
	諸収入	6,666
	計	9,567,157

歳出 (千円)	議会費	388
	総務費	63,520
	給付費	7,723,585
	諸支出金	18,422
	計	7,805,915

歳入歳出差引額 1,761,242千円 うち支払準備基金繰入額 1,760,000千円 翌年度繰越額 1,242千円

《退職事由別給付状況》

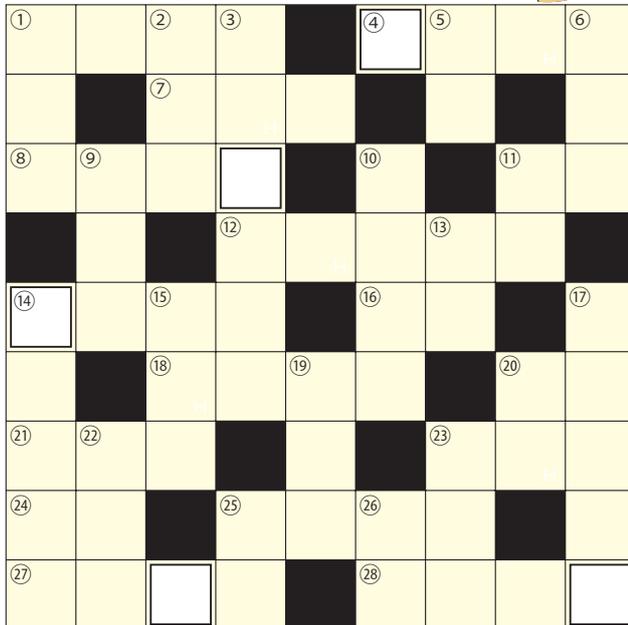
退職事由	人員(人)	金額(千円)
普通退職	193	434,224
長期勤続退職	19	244,979
定年、応募認定退職	339	6,799,459
特別職の退職	33	244,923
計	584	7,723,585

組合ホームページをご利用ください

<http://aomori-taite.jp>

(主な内容/概要・例規集・様式・事務の手引・試算・構成団体決算状況・リンク集・お知らせ)

あいらんのクロスワードパズル



□の中の文字を並べると、ある言葉ができます。

(ヒントは「やすらぎ」の中にあります。)

はがきにクロスワードの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、所属市町村名、「やすらぎ」へのご意見、ご感想、メッセージを添えて、〒030-0812 青森市堤町2丁目1-1青森県市町村職員退職手当組合「やすらぎ」編集室までお送り下さい。正解者10名様に抽選で素敵なプレゼントを差し上げます。

締切/2020年11月末日消印有効

〈タテのカギ〉

- 田舎館村の「○○○アート」
- 街中にある赤い色の「郵便○○○」
- 『狸々木』(花)
- 『木瓜』(花)
- 『山女』(魚)
- 『○○○ホーム』(コロナ感染防止対策)
- 『雀斑』(顔の皮膚にできる「しみ」の一種)
- 『オレオレ○○○』、電話で息子を装いお金を騙しとる
- 70歳のお祝い
- 『信天翁』(鳥)
- 『久遠』(長く久しいこと)
- 青森県下北地方のブランド米
- 仕事や職業以外の個人の楽しみ
- 『○○をして得を取る』
- 句読点のひとつ、「:」の記号で表す
- インドの女性が着用する民族衣装
- 牛
- アメリカ航空宇宙局

〈ヨコのカギ〉

- 『蒲公英』(花)
- 『南瓜』
- 『西瓜』
- マサチューセッツ州の州都
- ジンベエ、オオメジロ、ホオジロなどの種類がいる
- 昔、使用していた稲の脱穀道具
- 『匕首』(鏢のない短刀)
- 『牡蠣』(海のミルク)
- 砂漠の中の肥沃な土地
- 『○○がない』とは、ムダや手抜かりがないこと
- 『左近の桜、○○○の橋』
- 褒めたたえる気持ちを表す歌、「愛の○○○」
- 水で濁ったべとべとの土
- ゴロゴロ、ピカピカ、光と音の饗宴
- 『竜胆』(花)
- 鮭に似て、鮭ではない魚

前回パズルの当選者

厳正な抽選の結果、次の10名様が当選しました。おめでとうございます。
(応募数63名)

〈前回パズルの解答〉

ほとけがうら

〈所属市町村名・氏名〉

五所川原市	小寺 裕子	おいらせ町	畑 中 育子
つがる市	高橋 美香子	南部町	松井 慎司
深浦町	根上 要	中部上北広域事業組合	中村 臣憲
中泊町	三上 康栄	つがる西北五広域連合	長谷川 昌代
六戸町	高橋 優子	つがる西北五広域連合	山本 梢